

新年おめでとうございます。2024年、辰年がスタートしました。年男(48歳)となる本年は皆様とともにより一層、地域の課題に取り組んで参ります。よろしくお願い申し上げます。

さて、しもの幸助県政レポートは、おかげさまで39回目の発行となり、三重県の人口減少の状況や道路・河川等の工事状況、2023年12月補正予算などの概要を記載させて頂きました。三重県の主要課題を身近に感じて頂けるよう、引き続き取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。



しもの幸助が選んだ 2023年県政3大ニュース

1 三重県議会6月定例会月会議一般質問登壇(6月10日)

議会議員の一般質問は1時間で、県民のお声を聴いて県政を質す最も重要な公務です。おおむね1回に本会議場に登壇できます。今年度は6月10日に下記4点の質問を行いました。本会議場での発言など詳細はQRコードからご覧いただけます。

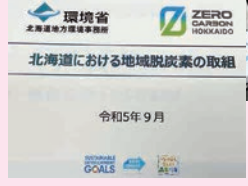
- 人口減少対策について
 - 人口減少の認識と「三重県人口減少対策方針(最終案)」について
 - 県人口の将来展望における設定値への必達意志について
- 不登校児童生徒支援の課題と今後の取組について
- 子ども医療費助成制度における現物給付(窓口無料)推進について
- 防災・減災対策について
 - 市町の津波避難対策の促進
 - 海岸堤防老朽化対策(長寿化計画)事業の現状と今後の見通し



2 環境生活農林水産常任委員会 県外調査にて北海道を視察(9月5日~7日)

サニックスエナジー 苫小牧発電所を見学し、廃プラを利用した資源循環型発電についてお話を伺いました。(写真右) 苫小牧工場では年間750万トンの廃プラを有効利用、74,000kwの発電設備を有し、これは一般家庭24,000世帯分の電力に相当します。エネルギー価格の高騰等を受け、資源の再利用、環境にやさしいエネルギー供給体制の構築について、引き続き情報収集していきます。

環境省北海道地方環境事務所を訪問し「ゼロカーボン北海道」の取組についてお話を伺いました。(写真左) 北海道では令和4年4月に地域活性化とカーボンニュートラルの同時実現を推進するべく地域支援体制の強化を図るため、北海道地方環境事務所に「地域脱炭素創生室」が設置、積極的に取り組んでおり、このような連携を三重県でも役立てて参ります。



3 中勢バイパス全線開通式典(11月19日)及び 国道306号鈴鹿亀山道路中心杭打ち式(11月25日)出席

中勢バイパスは都市計画決定(1983年4月)から40年の歳月を経て、全線開通(鈴鹿市北玉垣町~松阪市小津町33.8km)となりました。すべての関係者皆様に感謝申し上げます。

また、国道306号鈴鹿亀山道路中心杭打ち式に出席しました。鈴鹿亀山道路は、鈴鹿市野辺町の鈴鹿四日市道路を起点、亀山市刃法寺町の亀山JCTを終点とし、東名阪自動車道や新名神高速道路に接続する延長約10.5kmの地域高規格道路です。地域高規格道路とは高規格幹線道路(高速自動車国道及び一般国道の自動車専用道路)を補完し、地域の自立的発展や地域間の連携を支える道路です。



令和5年度《補正予算後》 鈴鹿市・亀山市内の主な幹線道路・河川等 工事進捗状況について

作成: 下野幸助事務所



路線名	事業箇所	事業延長(km)	令和5年度事業費(千円)	事業費(国土強靱化分)(千円)	令和5年12月初旬時点での進捗状況
1 中勢バイパス4工区	〈北玉垣町~野町〉	2.8	3,300,000	0	令和5年11月19日全線開通
2 鈴鹿四日市道路	〈四日市市来女町~鈴鹿市稲生町〉	7.5	500,000	0	現在、調査設計を実施中
3 23号電線共同溝	〈白子地区〉	5.2	192,000	0	現在、調査設計、支障物移設、本体工事を実施中
4 国道306号川崎庄内バイパス	〈亀山市川崎町~鈴鹿市東庄内町〉	3.2	前年度予算繰越	0	鈴鹿亀山道路との交差部を設計中
5 神戸長沢線(II期)	〈伊船町~長澤町〉	1.4	前年度予算繰越	0	用地買収を実施中
6 鈴鹿環状線 磯山バイパス(II期)	〈徳田町~五祝町〉	1.7	145,950	0	道路工を実施中 鉄道交差部及び道路工を実施中 令和7年度開通予定
7 鈴鹿環状線 国府バイパス(I期)	〈平野町~国府町〉	2.0	107,362	42,000	道路工を実施中
8 国道306号 鈴鹿亀山道路	〈鈴鹿市野辺町~亀山市刃法寺町〉	10.5	435,750	191,100	調査設計を実施中
9 神戸長沢線(定五郎橋)	〈弓削町〉	0.1	71,925	0	道路工を実施中
10 四日市鈴鹿環状線	〈神戸地区〉	0.2	178,500	0	踏切道拡幅工事完成 開通
11 野町国府線	〈道伯町〉	0.9	234,427	0	道路工、用地補償を実施中
12 国道306号	〈東庄内町~伊船町〉	1.2	117,390	53,235	歩道工を実施中
13 稲生山線	〈白子町~野村町〉	0.3	4,854	0	路肩拡幅工を実施中
14 市道 汲川原橋徳田線(II期)	〈平野町~国府町〉	1.3	1,183,088	0	用地買収、建物補償を実施中(6月補正後)

河川・海岸名	事業箇所	令和5年度事業費(千円)	事業費(国土強靱化分)	令和5年12月初旬時点での進捗状況
15 一級河川 鈴鹿川	河川流域(直轄管理区間)	544,000	0	河道掘削、護岸工等(改修)
16 一級河川 芥川	加佐登町~庄野町	93,375	46,200	堤防工を実施中
17 二級河川 堀切川	白子1丁目ほか	104,325	52,500	堤防工実施中
18 二級河川 中ノ川	徳田町	61,650	0	堤防強化工実施中
19 千代崎港海岸	南若松	103,200	0	離岸堤工事実施中 消波ブロック製作中
20 南若松地区海岸	南若松	128,100	0	離岸堤工事実施中 消波ブロック製作中
21 金沢雨水幹線	飯野寺家町ほか	180,000	0	下水道(雨水)施設整備

1~3 15 国管理 4~8 16~20 県管理(国道3桁道路は県管理) 14 21 市管理

三重県の重要課題—人口減少問題を考える。

三重県の人口ピークは2007年の187万人でした。今後の人口減少対策が、三重県にとって最大の課題と言っても過言ではありません。今後も引き続き、暮らしやすい三重県を目指して人口減少対策に取り組んでいきます。

■人口減少によって生じる主な課題

1. 少子高齢化の進展/高齢化率は30%以上へ
2. 生産年齢人口の減少による
 - ①国内需要の減少
 - ②経済規模の縮小
 - ③労働力不足
3. 投資先として日本の魅力低下、国際競争力の低下
4. 医療・介護費の増大など社会保障制度の給付と負担のバランスの崩壊、財政の危機
5. 基礎的自治体の担い手の減少など様々な社会的・経済的な課題が深刻化します。

人口増減率(29市町) 2007年と2023年

0%超	3
0~▲5%以下	8
▲5~▲10%	3
▲11~▲20%	6
▲20%超	7
▲30%超	2

三重県
人口 172.7万人
面積 5774.4km²
(2023年10月現在)

三重県では
5年間で7万人以上の
人口減少

■三重県29市町別人口推移(2007年ピーク時と2023年との比較)

29市町 人口増減率(色分)	総人口(人)		2007年ピーク時との 比較(左記増減)		高齢化率(%)		面積 (km ²)
	2007年10月	2023年10月	2007年ピーク時との 比較(左記増減)	2007年10月	2022年10月		
津市	288,878	269,645	-19,233	-6.7%	23.7	29.8	711.18
四日市市	306,282	301,956	-4,326	-1.4%	19.3	26.0	206.50
伊勢市	133,640	118,884	-14,756	-11.0%	24.0	32.6	208.37
松阪市	169,515	154,547	-14,968	-8.8%	22.8	30.7	623.58
桑名市	140,554	136,139	-4,415	-3.1%	19.2	27.3	136.65
鈴鹿市	196,966	192,201	-4,765	-2.4%	17.0	25.0	194.46
名張市	81,227	74,087	-7,140	-8.8%	20.0	33.8	129.77
尾鷲市	21,316	14,955	-6,361	-29.8%	32.9	44.9	192.71
亀山市	50,153	49,614	-539	-1.1%	21.8	25.9	191.04
鳥羽市	22,278	16,402	-5,876	-26.4%	28.4	40.8	107.34
熊野市	20,525	14,901	-5,624	-27.4%	35.1	45.3	373.35
いなべ市	46,625	44,321	-2,304	-4.9%	21.6	27.8	219.83
志摩市	56,841	42,873	-13,968	-24.6%	30.4	42.1	178.94
伊賀市	99,805	84,851	-14,954	-15.0%	26.2	33.2	558.23
木曾岬町	6,848	5,759	-1,089	-15.9%	19.8	33.9	15.74
東員町	25,803	25,776	-27	-0.1%	18.0	32.0	22.68
菟野町	39,576	39,973	397	1.0%	21.7	26.6	107.01
朝日町	8,347	11,077	2,730	32.7%	19.4	18.8	5.99
川越町	13,245	15,495	2,250	17.0%	17.9	18.7	8.72
多気町	15,659	13,477	-2,182	-13.9%	27.1	35.0	103.06
明和町	22,876	22,229	-647	-2.8%	23.5	31.9	41.06
大台町	10,853	8,107	-2,746	-25.3%	33.6	43.6	362.86
玉城町	15,084	14,714	-370	-2.5%	22.3	29.1	40.91
度会町	8,934	7,538	-1,396	-15.6%	25.8	37.3	134.98
大紀町	10,382	7,062	-3,320	-32.0%	37.4	51.6	233.32
南伊勢町	15,926	9,877	-6,049	-38.0%	41.1	54.6	241.89
紀北町	19,131	13,465	-5,666	-29.6%	35.9	46.8	256.55
御浜町	9,693	7,682	-2,011	-20.7%	32.9	41.7	88.13
紀宝町	12,345	9,896	-2,449	-19.8%	27.3	38.4	79.62
三重県計	1,869,307	1,727,503	-141,804	-7.6%	22.5	30.0	5774.48

※人口は、三重県戦略企画部統計課「三重県の人口(市町別推計人口)」による
高齢化率は総人口に占める65歳以上の人口

■三重県年間人口減少数(直近5年確定値)について

人口減少要因	2018年 (平成30年)	2019年 (令和1年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	直近5年間 人口減少数 (5年合計)
①自然減少 (出生数-死亡数:万人)	▲8,318人 (1.3-2.1)	▲9,121人 (1.2-2.1)	▲9,575人 (1.1-2.1)	▲10,659人 (1.1-2.2)	▲12,852人 (1.0-2.3)	▲50,525人
②社会減少 (転入数-転出数:万人)	▲4,225人 (2.6-3.1)	▲6,251人 (2.5-3.2)	▲4,311人 (2.5-2.9)	▲3,480人 (2.5-2.8)	▲3,875人 (2.5-2.9)	▲22,142人
三重県年間人口減少数 (①自然減少+②社会減少)	▲12,543人	▲15,372人	▲13,886人	▲14,139人	▲16,727人	▲72,667人
三重県 合計特殊出生率	1.54	1.47	1.42	1.43	1.40	

県立大学設置の検討に係る有識者会議の結果を受けた三重県の対応について

県立大学の設置を検討する有識者会議の5つの論点での議論をふまえて、次の(1)(2)から昨今の情勢変化や費用対効果を総合的に勘案し、県立大学の新設は見送られました。

- (1) 専門的な知見を有する有識者が多角的に議論した結果、「大学新設は課題や懸念が多く、他の選択肢を模索した方が、若者の県内定着に資するのではないかと」報告を受けた。

(2) 喫緊の課題である人口減少対策として、大学新設は多大な費用をかけた10年先の効果発現となるが、ジェンダーギャップの解消や人口還流の促進など、「三重県人口減少対策方針」をふまえた若者の県内定着に向けた対策に注力する方が、早期の効果発現が期待でき、大学新設よりは費用もかからない。

県立大学設置の検討に係る有識者会議の5つの論点

- (1)費用対効果について
- (2)人口減少下の大学経営について
- (3)既存の県内大学への支援について
- (4)国の大学施策の動向について
- (5)企業のニーズ等への対応について

本県の進学・就職における人口移動の概要



※人数は概数であること、簡略化のために専修学校等一部の進路を省略しているため合計は合いません。

県内高等教育機関の現状

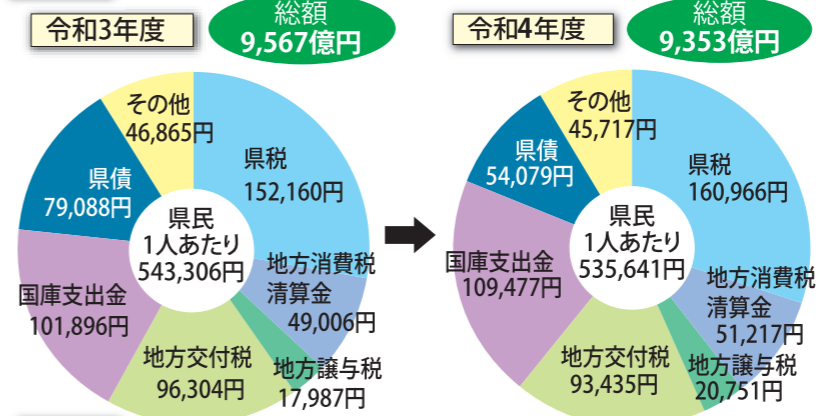
県内には、大学★が7校、短期大学▲が4校、高等専門学校■が3校あります。

- ★鈴鹿大学(私立)
- ▲鈴鹿大学短期大学部(私立)
- ▲高田短期大学(私立)
- ▲三重短期大学(公立)
- 近畿大学高専(私立)
- ★四日市大学(私立)
- ★四日市看護医療大学(私立)
- ▲ユマニテク短期大学(私立)
- 鈴鹿高専(国立)
- ★三重大学(国立)
- ★三重県立看護大学(公立)
- ★皇学館大学(私立)
- 鳥羽商船高専(国立)

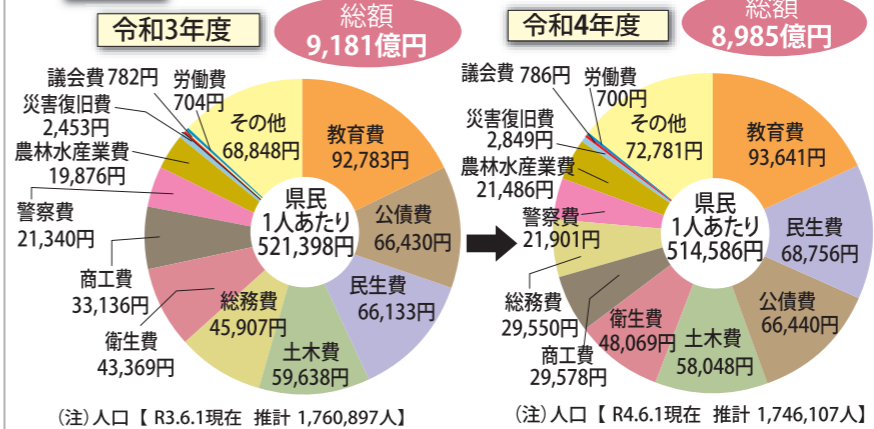
三重県令和3年度及び令和4年度一般会計(県民1人あたり)決算内容の推移

(令和5年11月22日 令和4年度 決算認定議案可決)

歳入



歳出



(注)人口【R3.6.1現在 推計 1,760,897人】

(注)歳入・歳出の金額は四捨五入のため合計とは合わない場合があります。

県民の皆さんの
暮らしを応援します!

物価高騰対策支援

省エネ家電への買い換え等
促進支援

エネルギー価格高騰の影響を受けている県民の皆さんへの支援と合わせて、温室効果ガスの削減を図るため、省エネ性能の高い家電製品の購入者に、購入金額の最大20%相当のキャッシュレスポイント等を交付します。
■実施期間:令和6年3月下旬~8月末(予定)

LPガス料金の高騰に
対する支援の継続

LPガス料金の高騰によって、生活等に影響が生じている一般消費者及び事業者に対して、高騰分の一部を支援する取組を継続します。(1契約につき3,000円、対象期間:令和6年3月分まで)

観光業への支援

平日ゆったりみえ旅
キャンペーン

平日の「みえ旅宿泊者」に対してクーポンを提供する、「平日ゆったりみえ旅キャンペーン」を実施中。

■実施期間:令和6年2月29日(木)まで
※年末年始(12月29日~1月2日の宿泊)・休日を除く

- クーポン
- 2,000円クーポン:
(1人1泊あたり10,000円~15,000円未満)
 - 3,000円クーポン:
(1人1泊あたり15,000円~20,000円未満)
 - 4,000円クーポン:
(1人1泊あたり20,000円以上)

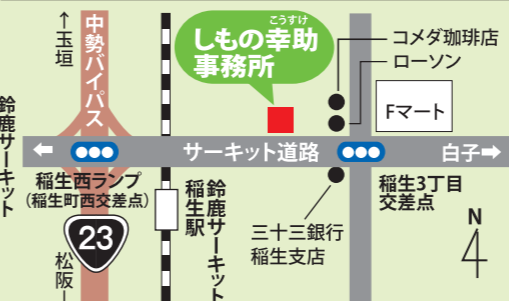
●詳細はこのQRコードより

三重県議会議員 新政みえ所属

しもの幸助事務所

〒510-0204 鈴鹿市稲生西3丁目14-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

2024年1月より事務所を移転いたしました。今後とも、よろしくお願い申し上げます。



現在の主な役職

- 環境生活農林水産常任委員会 委員
- 三重県議会スポーツ振興議員連盟 副会長
- 三重県議会日越(ベトナム)友好議員連盟 副会長
- 三重県トライアスロン協会 顧問
- 鈴鹿市水泳協会 会長
- 鈴鹿市剣道協会 顧問

しもの幸助公式ホームページ

<http://www.k-shimono.com>

最新の活動状況がご覧いただけます。皆様からのご意見をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

友だち募集中

しもの幸助公式ホームページ

しもの幸助公式LINE

■三重県議会議員 しもの幸助プロフィール (47歳)

1976年11月 鈴鹿市に生まれる 現在47歳(妻、長男、長女 4人家族)

1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業

1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業

1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業

1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業

2001年10月 内閣官房職員

2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了

2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社

2011年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)初当選

2015年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)2期目当選

2019年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)3期目当選

2019年 6月 四日市港管理組合 議長

2023年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)4期目当選

2023年 5月 環境生活農林水産常任委員会 委員

2011年4月初当選から13年目を迎えました